



東京のインド料理店（日本人経営）で15人のインド人・バングラデシュ人労働者が労組を結成しました。今年になって全く給料が払われず、その前も帰国時に払うといっておまかされたのです。要求すると、今年の春突然閉店と解雇を通告されました。店と縁が切れると在留資格も危うくなる。この店だけのことでしょか？

神戸YWCAのある神戸市中央区は住人の一割が外国人だといえます。農村、特に特定野菜の大規模産地などは、外国人労働なしには成り立たない状態ですが、賃金の不払いや残業の強要など多くの問題があるようです。神戸でも中国人研修生にひどい労働を強いた縫製会社がありました。

夜回りで野宿している人が「ベトコンと戦っている」というので驚きました。「彼らベトナム人はタイ料理店で働いているが、給料がでないで粗ゴミを集めるから、自分たちと取り合いになり争いになる」というのです。中国人と乱闘したという話を聞くこともあります。

初めに書いたインド料理店と同様の問題は沢山あるけれど、殆ど報道されないで、知られていません。

ヘイトクライムが世界中に蔓延していることについて書きはじめたのですが、ドイツ・東欧のネオナチ・フランスやイタリアの国民戦線などの排外主義活動だけでなく、英国のEU離脱騒動後のポーランド人排斥、米国のトランプの移民排斥等々、事例は数えきれません。テロとの戦いは移民、難民問題にもつながっています。

7月にはバングラデシュで、日本人を含む外国人殺害事件が起こりました。その現場から20キロ北の町で2013年4月に8階建てのビルが崩壊し、1,000人もの労働者が犠牲者になりました。前日ビルに亀裂が見つかったがオーナーは無視し、仕事は続けられたそうです。数千台のミシンを使って欧米のグローバルな企業や日本の衣料品業者が劣悪な労働環境・労働条件で働かせて利益を上げていました。2年後にNGOが調査したところ、労働条件・環境は良くないままでした。



野々村耀 (神戸YWCA会友)

EUは戦争を繰り返さないことや人権尊重を目指す点は評価できますが、IMFや世界銀行が、途上国を支援する時に、その国の構造を変えようとする・・・(国営企業の民営化、金融自由化、規制緩和などを要求する。実態は新自由主義の強要)・・・のと同様のことを欧州

で行っています。そこからギリシャの抵抗運動、スペインでの労働の規制緩和に対抗する左翼政党ポデモスの運動が支持され、フランスでも労働規制緩和が強行されるのに対して、激しい抵抗運動が盛り上がっています。EUに対する貧しいものへの不満は激しいものがあります。オランダ大統領はデモを禁止し、極右政党のル・ペンが民主主義に反すると揶揄するほどです。

資本はたやすく国境を越えて入り込み、出ていきますが、人間はそう簡単ではありません。中東から戦禍を逃れて難民となった人々は安住の場所を求めますが、今は欧州もた易くは受け入れてくれず、はいても排斥しようとする人達に迫害されます。

バングラデシュは安全だと思っていたと、企業や政府も言っていますが、3年前の事件のことを反省してはいないからでしょう。東京都知事が金銭問題を追及されて辞任しましたが、発端は都立高校の廃校跡地を韓国学園に貸そうとしたことでした。金銭が問題ならもっと追求すべき人はいます。高校の授業料が無償化されたけれど、朝鮮学校は除外されています。

ヘイトクライムやスピーチを行うのは個人やその集まりです。それを免罪するべきだとは思いません。しかし、もっと大きな力がそこに向かって押しやっているのだとしたら、そちらにも目を向けなければと思います。そして、自分もその大きな力の一部かもしれません。

## 底の抜けた 世界を どう生きるか

## マリエさんに聞く！ノルウェーの難民事情

欧州での難民問題が深刻化する中、6月10日（金）、ノルウェーからの留学生マリエさんをお招きし、ノルウェーの難民事情について話を伺った。

ドイツ、スウェーデンなどEU諸国に比べると難民受け入れ数は少ないが、難民申請者へのプログラムは手厚い。申請者は、受け入れ施設で過ごした後、自治体に送られ、1人当たり約20～30万円を受給しながら言語と職業訓練の入門プログラムを2年間受けられるという話だった。彼らの自立支援の為に国の税金から拠出されることに對し、マリエさんに意見を伺うと、「彼らも納税者であり、労働力となる大切な人材。しっかりケアしてあげることで自立できる。」と自然に答えていたことに驚いた。国の政治、社会政策について10代の学生が自分の言葉で述べていく姿に大変たくましさを感じ、ノルウェーの議論を大切にすることを教育に大変感心した。（小野木 愛）



### 参加者の感想

◆ノルウェーでは家族で政治や経済のことを話すのが一般的だというお話が印象的でした。そうやって育てているからこそマリエさんのようにしっかりと考えを伝えられるのかもしれませんが、見習いたいです。

◆今回の英国のEU離脱が、移民や難民の問題に様々な点で影響しているということを教えられました。ノルウェーでは、学校教育で宗教や難民問題についても学び、話し合われるそうです。クラスに難民の友だちがいたことも、難民問題を身近にとらえ、しっかりとした意見を持つようになったのだと感じました。

## キックオフ・ミーティング



6月22日（水）、キックオフ・ミーティングが昨年に引き続き、本館チャペルにて開催された。

まず、神戸YWCAの今年度の活動目標を参加者全員で読み、すべての部・グループの活動がその目標のもとで行なわれることを再確認した。そして、各部・各グループの活動紹介と共に、メンバー一人ひとりが書いたメッセージを共有し、神戸YWCAという一つの樹に連なる仲間だという思いを新たにしました。

最後に乾杯し、「今年度も活動がんばろう！」と締めくくった。

（野村 春美）

## 7月のアフタヌーン・ティー 憲法の歴史—過去・現在・未来—

7月5日（火）、憲法学者の後藤安子さん（関西大学法学部・頌栄短期大学講師）をお迎えして、アフタヌーン・ティーを開催した。出席者29人。

私たちの憲法が誕生して69年になる。憲法が掲げる基本原理である①国民主権②基本的人権の尊重③平和主義が一度も改正されずに効力を保ってきたが、今、改正が声高に叫ばれている中で、もう一度学び直したいと講師に依頼。それに応えて1) 憲法制定の歴史 2) 自衛隊について 3) 憲法改正についてと三部に分けて、多くの資料を用いながら、ユーモラスに丁寧に、かつ明瞭に語り尽くされた。（松本 よを）



この写真は、神戸YWCA創立70周年記念事業として1990年4月7日～12日に上筒井の会館で行われた『岡村昭彦写真展』のもの。

岡村さんはフォトジャーナリストとして世界各地の戦争・飢餓・人種問題などを取材。特に『LIFE』誌のベトナム戦争特集は全米に衝撃を与え、反戦運動へとつながった。その後、ホスピスやバイオエシックスなど当時最先端の分野をテーマに発信されたが、1985年に56歳で亡くなった。

神戸YWCAは1973年から約2年間、岡村さんを講師に勉強会をした経緯があってこの催しが生まれた。写真展に先立ち、岡村さんと親交のあった岡部伊都子さんと徳永進医師の講演会も開いた。写真130点はチャペルとロビーに展示し、会期中730人が来館された。なつかしい会館とともに忘れ得ぬ思い出である。

（佐伯 かをる）

## 平和活動部

### 公園で紙芝居をしました！

平和活動部では、6月末から7月初めにかけて6回、中央区、灘区の公園などで紙芝居「王様を縛る法～憲法のはじまり」（「明日の自由を守る若手弁護士の会」作）を行いました。

平和活動部の憲法出前プログラムで毎回披露し好評を得てきたこの紙芝居は、立憲主義、国民主権など近代憲法の本質を歴史的に、しかも5分ほどで分かりやすく語っています。憲法について考える機会のなかった人々に見てほしくて、出前公演の形を選びました。紙芝居の前・後にはギター演奏でアンパンマンのマーチを歌うなど、明るく楽しい雰囲気作りを心がけました。

参議院選挙後も続けていけたらと思っています。（川辺 比呂子）



神戸YWCA 被災者支援プロジェクト

島村藍さんを迎えて

## チェルノブイリ原発で私がみたもの、きたこと、感じたこと



事故のあったチェルノブイリ原発4号機と線量計（撮影：島村藍）

島村藍さんは「旅」に魅了された人です。島村さんが1年半かけて旅する中で、ウクライナと出会いました。

「日本を出発してからユーラシア大陸を西へ進み、2015年1月、極寒のウクライナにたどり着きました。寒さのせいで歩みが止まった私は、ふと、チェルノブイリに行くことを思い立ちました。チェルノブイリ近郊の廃墟をみつめながら、福島未来、原発と共に暮らす私たちの未来を想いました。」

チェルノブイリ原発とその周辺で、島村さんがみたもの、きたこと、感じたことを、写真と共にご紹介いただきます。ロシアのお菓子付き！ぜひご参加ください。

（西本 玲子）

日時： 8月27日（土）  
15:00～16:30

参加費：1,000円（学生700円。  
ロシアンスイーツ付き♡）

\*8月25日までに申し込みください。

## 第32回YWCA全国会員総会 参加者募集

4年に1度、全国のYWCA会員が集まり、今後4年間のYWCAのビジョンや方針を決める全国会員総会が開催されます。ぜひ一緒に行きましょう。多くの出会いがあります。

日時： 2016年11月19日（土）～11月20日（日）

\*11月18日（金）18:00～20:30 オープンプログラム（予定）

会場： 東京YWCA会館

費用： 参加登録費用5,000円（資料、事務費、19日昼食兼交流会費を含む）

\*交通費・宿泊費は自己負担。託児可。

お申し込み： 8月31日（水）までに神戸YWCA事務所へお申し込みください。（担当・西本）



YWCAの先輩ってどんな人？会員活動に参加したところ、あまりのゆるさに思わず「それで、次は？」とつい促したら、「あなたから見ればゆつくりしてるとお思いでしょうね。」とにこやかに返された。すっかりこちらの考えを読み取られていた。そんな人たちが自然体で活動していた。やわらかい笑顔で、決して人を排除しない。しかも本質を見る目は鋭く、ゆるがない。だから、自分で考え納得したら動く。動き始めると、原爆絵画展までやってのけるような力を発揮する。まさに「ハンサムウーマン」。私になりたいモデルがいるところ、それがYだった。

今、ふと立ち止まることがある。今までの活動って意味があった？そこで気づく。あれ、ひよっとして「イエスに倣う」ってこんなことだったのかも。イエスは、社会に問いかけ、弱者の立場に立って動いた。人間としての弱さや悩みも抱えながら。だからこそ人々の心に言葉が届いた。Yの活動はやはりここから出発していたのだ。弱き私たち、されど愛すべき私たち。地味であっても社会のためにできることはまだまだある。混沌として面白き私の道は、Yと関わりつつこれからも続く。

（斎藤 明子）

●わいわい科学クラブ (小学生対象) **分室**

8月27日(土)「洗濯のりでスーパーボールとスライムをつくろう」

9月17日(土)「色が変わるコマをまわそう」

① 10時～11時30分② 13時～14時30分

場所 神戸YWCA 分室

ボランティアサポーターも募集しています！

参加費 1回 200円

●聖書を読む会 **本館**

9月1日(木) 13時30分～15時

参加費 500円(1回)

●讚美歌を歌おうかい **本館**

9月1日(木) 15時～16時

参加費 500円(1回)

●文学講座 **本館**

9月20日(火)『徒然草』を読む

13時30分～15時30分

参加費 500円(1回)

●カフェもぐもぐ **分室**

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。

8月6日(土)・9月3日(土) 13～15時

参加費 300円(茶菓付)＊ランチ(別料金)も提供可(要予約)。詳しくはお問い合わせください。

●愛農人倶楽部

神戸市北区道場の畑で農作業をしながら、自然と環境保全のための活動をつづけています☆

8月28日(日) 9時40分(小雨決行)

場所:JR宝塚線道場駅改札口前集合(車でご参加の方はご連絡ください)

参加費:年会費5,000円(ビジター会費500円/1回)

●勉強に役立つ日本語クラス修了式&パーティー **本館**

神戸YWCAで日本語を学ぶ子どもたちの

いきいきとした顔を見に来てください！

8月26日(金) 12時30分～13時すぎ

企画の可能性▶機関紙編集の課題検討▶全国会員総会へ向けてPV作成検討▶会員メーリングリスト作成提案。

(7月)【報告】▶理事会 2015年度決算▶平和活動部公園で紙芝居「王様を縛る法」実施▶地域福祉部 他団体を見学▶キックオフ・ミーティング実施▶日本YWCA 次期総会期のビジョン決定【議事】▶分室バザーのスケジュール確認と持ち方検討▶フェス・プロジェクト進捗状況▶全国会員総会①参加者派遣②Y's wonderful women賞への推薦③PV作成準備。

(書記・野村 春美)

■ 理事会報告

6月18日(土) 第1回理事会開催。保育園人事、総幹事人事について。6月25日(土) 第2回理事会開催。介護事業の今後の方向性について協議。(総幹事・寺内 真子)

■ 評議員会報告

6月18日(土) 定時評議員会開催。2015年度事業報告と決算を承認。次期評議員を選任。(総幹事・寺内 真子)

■ 新入会員

苔田 千晶 (敬称略)

■ 賛助員

井土垣 利子 井上 早苗  
井上 たみ 井上 力  
岩村 義雄 上 紀子 田邊 誠  
株式会社サンビルダー  
島本 健二 中村 昭子  
飛田 雄一 三浦 哲朗  
(敬称略)

■ 編集後記

参院選が終わり、憲法改正が発議できるようになった。“そんなつもりではなかった”という時が、すぐ目の前に来ようとしている。

(S・T)

■ 学院だより

日本語コースでは、7月9日にレギュラーコース1期が修了。最終日には、日本で生活する中で考えたこと、母国の民話、将来の夢などを、一人ひとりが自分のことばでスピーチを行った。

7月4日～7月27日「生活のための基礎日本語」Ⅱ期を開講し、地域で生活する13か国17人の外国人が学んだ。日本語学習をきっかけに今後多文化共生を目指す神戸YWCAの取り組みにつながってくださることを願う。

8月8日～26日には「勉強に役立つ日本語クラス」を開講し、外国にルーツを持つ13～18歳の子どもが学校の勉強に必要な日本語を学ぶ。

日本語教師養成コースでは、帝塚山学院大学、神戸女学院大学から日本語教育実習生を受け入れる。(原田 雅子)

■ まごの手だより

昨年に続き、今年も猛暑のようだ。利用者さんも熱中症になったり体調を悪くされたりしている。熱中症対策には

食事と水分。栄養バランスと量を考えて食事を規則正しく取る。水分は食事も合わせて1日8回取るのが目安。特に高齢者は喉の渇さを感じにくいので、脱水症状にならないようこまめに水分を取ることに室温も28℃以下にすることが重要。利用者さんに声をかけながら活動している。また、食中毒に注意し手洗い・うがいを心がけている。スタッフも体調管理を万全にし、この夏を乗り切りたい。

(所長・松田 恵美子)

■ 分室だより

地域福祉部では6月～7月、他団体の活動を知ろうと、分室同様に配食活動や居場所づくりに取り組み「東灘地域助け合いネットワーク」「明舞ひまわり」「リーフグリーン」を訪問した。各団体の工夫のあれこれに「なるほどなあ」と唸りつつ、その陰に積み重ねられた苦労はいかほどであったかと思う。凄い活動が地域にあるのだと考えさせられた。今回、メンバーの友人で企業の再生に取り組みされた方もオプザーバーとして参加し、多

くの意見をくださった。大いに触発され、気づいたことをいかに分室活動に活かしていくか。ここからが本番である。(西本 玲子)

■ 保育園だより

今まで、顔見知りでない人が保育室に入ってこられると泣き叫んでいた子どもたち。保育園が安心して過ごせる自分の居場所となったので、見学者にも笑顔で対応できるようになりました。

ハイタッチをしたり、絵本を持って行ったりして関わろうとしている姿には驚かされます。窓から外を通る人々にこやかに手を振って、神戸YWCA 保育園を知っていただく機会になっています。子どもたちの笑顔は宝物！

(園長・梅川 玲子)

■ 運営委員会報告

(6月)【報告】▶理事会 賛助員紹介カード(ファンドレイジングチーム)▶日本YWCA 中央委員会【議事】▶キックオフ・ミーティングプログラム検討▶フェス・プロジェクト進捗状況▶分室バザー▶他



**ゴーフル®**  
いいものは時代をこえて  
生き続けます

**神戸風月堂**  
本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555  
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



**(有) 佐野葬祭**  
代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みくに  
**0120-592-392** (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます  
尼崎市潮江4丁目2-2  
URL: <http://sanosousai.com>